

米沢市文化財年報

No. 20

文化財愛護シンボルマーク

米沢市教育委員会



街道西下遺跡の全景



街道西下遺跡・現地説明会



K Y 9 州浜形溝状遺構（溝に水なし）



K Y 9 州浜形溝状遺構（溝に水あり）

街道西下遺跡

中世の屋敷跡、街道西下遺跡の発掘調査によって発見された上段写真の遺構は、溝によって表出した土偶形状が特徴的です。屋敷に暮らす人々を守る為、祭祀を行なった神聖な場所と考えられます。

埋 蔵 文 化 財 事 業

本年度、埋蔵文化財に関する発掘届及び分布調査の依頼を受けたのは、平成20年2月29日現在で44件です。分布調査によって緊急発掘調査を実施した遺跡は、街道西下遺跡と上谷地B遺跡の2件でした。また、上郷小学校建設予定地内に新規の遺跡を確認しました。

街道西下遺跡「米沢市中田町地内」

当遺跡は、店舗予定地造成に伴う試掘調査により発見された新規の遺跡です。米沢市の北方部に位置し、周辺には北方に笹原遺跡、南方の大浦遺跡群といった古代の官衛遺跡が隣接しています。今回は、開発予定面積のうち約2,300㎡の調査を平成19年5月23日から7月21日までの期間で実施しました。

今回の調査区からは、縄文時代から中世の遺物、遺構が検出しました。これらの各時期で中心をなすのは中世で、地域有力豪族の屋敷跡と考えられます。

屋敷跡は、西と東に川が流れる南北に細長い地形上にあり、これらの河川は堀の役目を果たすものと推測されます。構成は、掘立柱建物跡2棟を始め井戸跡5基、溝状遺構12基、土壇24基等が発見されました。

遺物としては、生活用具としての播鉢や甕、曲げ物が出土しています。生産に係わる遺物としては、精錬の道具である鉄滓や羽口があります。さらに、井戸跡からは、土崩を防ぐために設置された組合式の井戸枠が当時の形態に近い状態で出土しています。

屋敷が機能していた時期は、出土した遺構や遺物から判断して14世紀頃に存続した約50年間の短期間であり、米沢盆地に伊達氏が侵攻する時代に位置するものと考えられます。

上谷地B遺跡「米沢市大字川井字上谷地地内」

平成17年度に発掘調査を実施した、野際遺跡の南方に位置します。遺跡は、米沢市の東部上郷地区にあり、山形県立米沢工業高校の東側に広がる水田や畑がその範囲となっています。

今回の調査は、宅地造成に伴うもので平成19年6月11日～同年6月19日の日程で実施しました。調査面積は239㎡、縄文晩期の河川跡と推測されます。

出土した遺物は、縄文晩期の土器や石器が中心ですが今回の調査区からはこの他に土師器や須恵器、中世陶器が出土しました。

土師器や須恵器は、奈良時代の遺物です。縄文土器が出土する上の層からの出土であり、この状況から判断して、河川は奈良時代まで流れていたと推測されます。

中世の遺物は播鉢で、使用されたことによる摩滅痕が認められました。この遺物は、調査区の南方に隣接する小高い箇所館跡に関連するものと考えられます。



街道西下遺跡遺構全体図



▲平成19年度で保存修理事業が終了した「米沢藩主上杉家墓所」



▲平成20年度から保存修理事業に着手予定の「上杉治憲敬師郊迎跡」(羽黒神社)

一般文化財事業

史跡 米沢藩主上杉家墓所保存修理事業

米沢藩主上杉家墓所は、江戸時代を代表する大名家墓所として、昭和59年1月11日に国の史跡に指定されました。

樹齢300年を越える杉木立に囲まれた史跡は、自然と建物とが一体化し、幻想的な空間を演出しています。史跡は、長年に亘る風雪や雨水の影響で傷みが激しくなったことから、平成6年度より国・県の補助金を採択して史跡の保存修理事業を開始し、歴代廟所の解体修理を主体に進めてきました。

平成17年度までに建物全体の保存修理が終了し、平成18年度と平成19年度の2ヵ年で防災関連事業と環境整備事業を実施しました。平成19年度は、自動火災報知設置及び試運転、空堀の改修と木柵の設置、参道の敷石据替工事、事務所の改修工事等を実施し、14年に亘る保存修理事業を終了しました。

史跡 上杉治憲敬師郊迎跡保存管理計画策定事業

史跡上杉治憲敬師郊迎跡「羽黒神社・普門院」は、9代米沢藩主上杉治憲（鷹山）が師細井平洲を迎えた史跡として広く知られています。

寛政8年（1796）9月6日、3度目の米沢下向となった師平洲との再会に際し自らこの地に出向いて恩師を迎え、丁重にその労をねぎらった敬師郊迎跡として、昭和10年6月7日に国の史跡指定を受けました。

史跡の管理は、戦前・戦後を通して所有者に委ねられてきましたが、史跡の大半を占める茅屋根の葺替や老朽化に伴って生じるき損等が増加したことで、所有者へかかる経費負担が大きくなってきました。

米沢市教育委員会は、経費の軽減を図るために、昭和62年度から国指定史跡管理補助金を計上し、軽微な補修と管理の指導を行ってきましたが、平成14年以降、羽黒神社及び普門院の本殿・庫裏・本堂等の大規模なき損が相次ぎ、抜本的な対策が必要となりました。このため、史跡の恒久的な保存管理を図るには、史跡の保存修理が不可欠と判断し、平成18年度から平成19年度の2ヵ年事業として保存修理計画策定事業を実施しました。事業は、史跡内の建造物の現状調査及び破損状況調査、環境整備となる樹木調査等について、平成18年度に羽黒神社、平成19年度に普門院の調査を行い、史跡の具体的な保存修理及び管理計画の策定内容を報告書としてまとめました。

その報告書に則って今後の保存修理事業を進める計画で、平成20年度から「史跡上杉治憲敬師郊迎跡保存修理事業」に着手する予定です。

区 分	平成 19 年度の重点	平成 19 年度の主な事業報告
1 文化財共通	<ul style="list-style-type: none"> ○事業の記録 ○文化財に関する諮問機関の開催 ○文化財行政推進大会への参加 	<p>「米沢市文化財年報」No.20、文化財マップの発行</p> <p>平成 19 年度米沢市文化財保護審議会の開催 (第 1 回目 H 19.7.4 第 2 回目 H 20.3.14)</p> <p>全国史跡整備市町村協議会東北地区協議会総会参加</p>
2 一般文化財	<ul style="list-style-type: none"> ○文化財の調査 ○文化財の保護 ○指定文化財保存管理の充実 ○指定文化財環境整備の促進 ○無形民族文化財後継者の促進 	<p>文化財保護審議会の委員による米沢市文化財総合調査の実施</p> <p>特別天然記念物「カモシカ」の保護</p> <p>市指定天然記念物「ホタル」及び市指定天然記念物「吾妻の白猿」保護調査</p> <p>文化財防火デーの趣旨に則り上杉家墓所の防火訓練及び国指定史跡「羽黒神社」、登録文化財「上杉記念館」における消防設備点検の実施</p> <p>国指定史跡「米沢藩主上杉家墓所」の管理に係る事業補助</p> <p>国指定史跡「上杉治憲敬師郊迎跡」の管理に係る事業補助</p> <p>国指定史跡「米沢藩主上杉家墓所」環境整備に係る事業補助</p> <p>重要有形民族文化財「行屋」の管理に係る助成</p> <p>国指定史跡「一ノ坂遺跡」並びに市指定史跡「戸塚山古墳群」、「谷地河原堤防（直江石堤）」等の環境整備の実施</p> <p>県指定無形民族文化財「梓山獅子踊」保存会への補助</p> <p>「綱木獅子踊」記録保存実行委員会の開催 (第 1 回目 H 19.11.1 第 2 回目 H 20.3.27)</p>
3 埋蔵文化財	<ul style="list-style-type: none"> ○埋葬文化財の調査 ○埋蔵文化財の情報収集と周知 ○調査報告書の作成 	<p>「街道西下遺跡」「上谷地 B 遺跡」等個人の土木事業に伴う緊急発掘調査の実施</p> <p>開発事業に際する事前協議及び埋蔵文化財包蔵地における土木事業前の発掘調査の実施</p> <p>街道西下遺跡、上谷地 B 遺跡の調査報告書作成</p> <p>市内遺跡詳細分布調査報告書の作成</p>

発行 米沢市教育委員会
〒 992-0012 米沢市金池三丁目 1 番 55 号
教育管理部文化課 文化財担当
TEL 0238 - 22 - 5111
FAX 0238 - 21 - 6925